

老人クラブの活動内容評価と参加がもたらす影響に関する研究

秋田大学 学生会員 ○佐々木優也
秋田大学大学院 正 会 員 鈴木 雄
秋田大学大学院 正 会 員 日野 智
秋田大学大学院 正 会 員 木村 一裕

1. はじめに

1990 年代頃から、身体や心理、社会的要因などが複合的に関与して高齢者が家に閉じこもる現象が見られるようになった。外出しないことで健康状態が損なわれ、人間関係が希薄化し、生活の質の低下が懸念される。高齢者に外出の機会を提供し、生活の質を向上させる活動としてコミュニティへの参加が挙げられる。

本研究は高齢者のコミュニティの代表ともいえる老人クラブを対象とし、活動に参加することによる効果を明らかにするものである。すなわち、老人クラブに対する調査から生活への影響因子と内容を把握し、分析する。

2. 老人クラブ参加者に対する意識調査の実施

本研究では老人クラブの参加者を対象とし、老人クラブの活動についての意識調査を行なった。調査対象は秋田市の茨島、新屋地区の老人クラブとした。

茨島では参加年数が 11 年以上経過している被験者が比較的多くみられ、経験豊富なクラブといえる。一方、新屋では茨島に比べて参加年数の短い被験者が多い。また、仕事に従事している被験者も比較的多くみられ、若いクラブと位置づけられる。

参加のきっかけを見てみると二つの地区で共通して友人の紹介がきっかけになっている被験者が多い。地域における人と人とのつながりが参加のきっかけにとって重要といえる。また、新屋ではインターネットをきっかけに参加した被験者が見られた。その理由として参加者の世代構成の違いによるものだと考えられる。

3. 老人クラブの活動項目とその評価

(1) 老人クラブへの参加頻度と活動項目

調査では老人クラブへの参加頻度について質問している。被験者のほとんどは少なくとも月 1 回は老人クラブに参加している(図-1)。また、ほぼ毎日老人クラブ

の活動の一環として活動をしている被験者もいたが主に清掃活動や美化運動を自主的に行っている会員がいるという意見も挙げられていた。

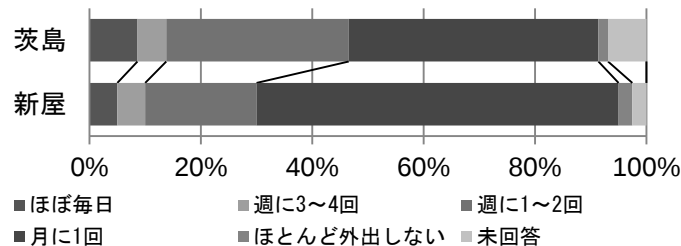


図-1 老人クラブへの外出頻度

調査では活動項目への参加経験を質問している(図-2)。いずれのクラブでも奉仕活動への参加経験が多い。また、スポーツは茨島が非常に高い割合を示した。茨島は秋田市高齢者スポーツ大会でバレーや卓球などで積極的に参加し、スポーツに熱心に取り組んでいる老人クラブであるためだと考えられる。

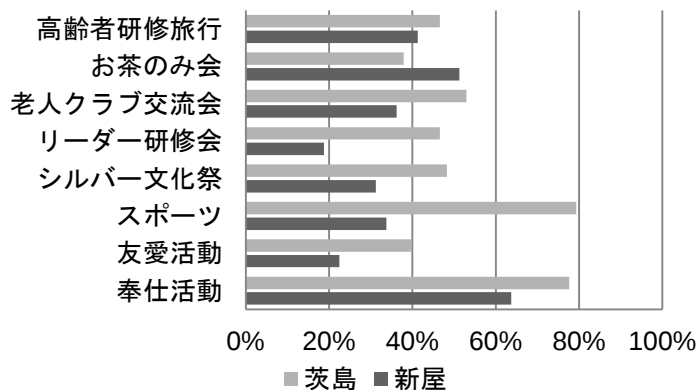


図-2 活動の参加経験

(2) 活動項目の評価と老人クラブに対するニーズ

被験者には活動項目の評価が高い二つを選択してもらった(図-3)。いずれのクラブも奉仕活動が高く評価されている。参加している被験者が多いことが反映された結果とも考えられる。また、お茶のみ会に対する評価は茨島と新屋とで差が見られる。

高齢者研修旅行に参加したことがある被験者の大半が高齢者にとって楽しみやいきがいくくりをできる旅

行などの企画が良い刺激になり、新しい経験が評価に結び付いていると考えられる。

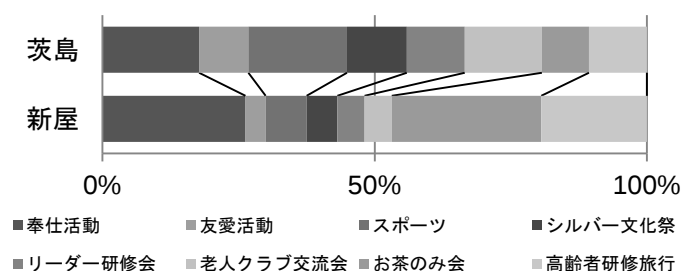


図-3 活動内容の評価

今後の老人クラブに必要なだと感じることを被験者に質問した。「誰でも楽しめる行事を行う」を挙げた被験者が最も多い。すなわち、老人クラブに人とのつながりと期待しているものと考えられる。一方、年齢を超えてみんなで楽しむことがなかなか難しいという意見も挙げられており、一緒に活動を通して仲が深まりやすい活動も提案していく必要がある。

4. 老人クラブによる参加者の変化と満足度

(1)活動を通じた参加者自身の変化

老人クラブの活動に参加する以前と比べ、参加者自身にどのような変化が生じたかを質問している(図-4)。

「以前より近所との会話が増えた」「地域を良くしたい気持ちが芽生えた」とする被験者が多い。活動に参加することで交流の場が生まれ、近所や人との関わりに変化をもたらした。そして、奉仕活動(清掃活動、美化活動)を通して地域に貢献したい気持ちが強くなったと考えられる。

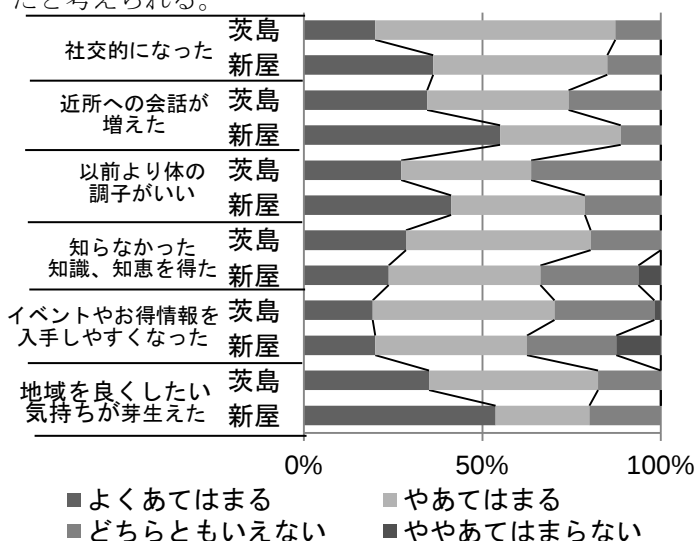


図-4 活動による参加者自身の変化

(2)数量化理論Ⅱ類による満足度分析

老人クラブに対する満足度を質問した(図-5)。ほぼ半数の被験者は満足と回答している。一方、「やや満足」

「どちらともいえない」と回答した被験者は何かしらの不満があるとも考えられる。また、参加経験年数も満足度に影響している。

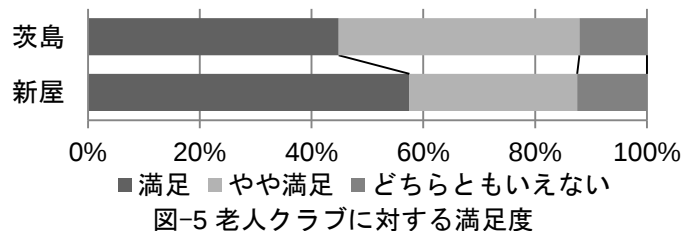


図-5 老人クラブに対する満足度

老人クラブの満足度に対して影響を及ぼす要因を明らかにするため、数量化理論Ⅱ類による分析を行った。外的基準を老人クラブに対する満足度、アイテムを活動を通じた変化とした。レンジが高い値を示したのは「社会的になった」「近所との会話が増えた」「地域を良くしたい気持ちが芽生えた」である。以上のことから人との関わりへの変化、そして地域を良くするなど奉仕活動が満足度に大きく関与していることがいえる。

表-1 老人クラブの満足度への影響因子(レンジ値)

	茨島	新屋
社会的になった	1.55	0.81
近所や人との会話が増えた	0.71	1.50
以前より体の調子がいい	0.11	0.29
今まで知らなかった知識、知恵を得た	0.35	0.76
イベントやお得情報を入手しやすくなった	0.19	0.17
地域を良くしたい気持ちが芽生えた	0.89	1.27
相関比	0.37	0.42

活動評価や上記の数量化Ⅱ類を用いた分析によって奉仕活動または地域に対する気持ちが重要であることが明らかになった。奉仕活動の参加経験の有無と満足度の関係をみると、奉仕活動に参加している被験者は老人クラブに対する満足度が高い傾向にある。

5. おわりに

本研究における分析の結果、老人クラブに対する参加者のニーズや評価、参加者にもたらされた変化が明らかになった。さらに人との交流と地域を良くしたい気持ちが満足度に影響を及ぼしていることもわかった。

特に、奉仕活動は老人クラブにとって重要な活動といえる。奉仕活動に参加することで交流や地域を良くしたい気持ちが生まれる。奉仕活動を通して地域に貢献することで老人クラブだけではない地域社会と高齢者とのつながりを生むと考えられる。その点が高齢者にとって有用といえる。